



イベント 終了しました

【満員御礼受付終了】英国の製本をめぐって－中世の写本から現代まで

キーワード	日比谷カレッジ,書物美の世界
内容	<p>シリーズ書物美の世界<第2回> 中世英文学者で、世界的に知られる洋古書コレクター高宮利行氏が語る、知的で優雅な書物宇宙をお楽しみください。</p> <p>手書き写本の時代から印刷本が主流となる現代まで、わが国とは異なる発展を遂げてきた西欧の書物の歴史をたどりながら、製本の変遷や、製本家や装丁デザイナーの登場で花開く、英国の版元製本の装飾や技術などをお話しいたします。</p>

	高宮氏の本棚から選りすぐった、中世から現代までの、美しく、珍しい古書もぜひご覧ください。
日にち	2013年05月26日（日） 14:00から16:00
日にち説明	13:30より受付開始
場所	4階 スタジオプラス（小ホール）
関連ファイル	講演ご案内リーフレット
定員	60名
参加費用	1000円（千代田区民500円）

講師・出演者	高宮利行
プロフィール	<p>中世英文学者、慶應義塾大学名誉教授。在職中は貴重書をデジタル化するHUMIプロジェクト主事を務めた。日本中世英語英文学会会長、国際アーサー王学会日本支部会長、日本英文学会理事、新チャーター学会評議員などを歴任。現在は初期書物学会理事、慶應英文学会会長、慶應愛書家倶楽部会長を務める。ロンドン好古家協会フェロー（日本人で初）、シェフィールド大学・グラスゴー大学名誉博士、英文雑誌Poeticaの編集長。国内や国際学会で研究発表や講演をし、英米の大学でも多くの講演を行った。我が国では放送大学のほか、多くのテレビ番組にも出演。専門はアーサー王伝説、古書体学、書物史。</p> <p>編著書：Aspects of Malory、The Medieval Python、『アーサー王伝説万華鏡』『アーサー王物語の魅力』『西洋書物学事始め』『グーテンベルクの謎』『本の世界はへんな世界』など多数。 翻訳書：『アーサー王 その歴史と伝説』『西洋書体の歴史』『キャクストン印刷の謎』など。</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
問い合わせ先	千代田区日比谷図書文化館 電話:03-3502-3340
申込期間	2013年04月01日 10:00 から2013年05月26日

	13:30
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、ご来館（1階受付）のいずれかにて、①講座名 ②お名前（よみがな） ③電話番号をご連絡ください。
関連リンク	「本のある時間」

発信日	2013.04.01
-----	------------

 印刷  リストに追加

ツイート

©2011 Hibiya Public Library. All Rights Reserved.